

岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報 第3号

第3号会報によせて

関西支部長 藤井 孝友



平素は岐阜大学工業倶楽部 関西支部の活動や行事にご協力・ご支援いただき誠にありがとうございます。昨年に引続き関西支部会報（第3号）の発刊にあたり一言、ご挨拶を申し上げます。

さて、昨年1年をふり返りますとまずは、忘れることができない3月11日の東日本大震災と大津波そして、東京電力福島第一原子力発電所の原発事故などの大惨事と未曾有の危機が発生しました。原発の安全神話は脆くも崩れ、失った信頼の回復は容易なことではありません。また、世界経済の減速とりわけEU諸国の債務超過の問題、長引く記録的な円高と、これによる日本企業の低迷など日本を取巻く社会や経済にさまざまな問題を投げかけています。これから我々日本人は、如何に生きるべきか新たに進むべき道を模索し、再生日本を確かなものにしていかなければなりません。

昨年6月の第3定期総会開催後、2回にわたる「津波・高潮ステーション見学会」、11月には「お江に関する安土城址歴史探索と第2回ゴルフコンペ」などを開催いたしました。その他、関西支部の役員会を6月、7月、10月、12月、翌1月、3月、と6回開催し、総務委員会、行事委員会、名簿管理委員会そして会報編集委員会など、さまざまな問題につき議論や検討を重ねてきました。その成果を支部運営や次期定期総会へ是非生かし、関西支部の発展へ繋げていく覚悟です。最後になりますが、引続き関西支部の会員数を200名以上に増やすことを目標としております。是非、皆さまの友人、知人、先輩そして後輩、また会社の同僚など多方面のみなさまへ関西支部への参加の「声かけ」を重ねてお願い申し上げます。

ご挨拶

工業倶楽部会長 白井 憲義



岐阜大学工業倶楽部・関西支部の会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は工業倶楽部の活動・事業にご協力・ご支援いただきまして感謝いたしております。また、日頃の関西支部の皆様への活動に敬意を表したいと思います。

昨年3月11日に発生した観測史上最大規模の東日本大震災は、原発も含めて多くの社会災害が同時に発生した未曾有の巨大災害として、我が国のみならず全世界の経済や社会情勢に大きな衝撃と困惑を与えました。各界のあらゆる努力と支援のもと確実に復興に向けての道を歩んでいると思われませんが、完全な復興と新しい生活環境の構築には今後さらに長い歳月が必要と云われています。この震災が日本社会や産業界に暗い影を落としていることは紛れもない事実と云えます。更には、世界経済の不安定さや我が国のデフレの進行、円高、少子化、製造業の空洞化など、国内の産業界におきましてはまさしく逆風が吹き荒れています。新たな日本社会を築くためにも、私たちは、日本社会のあり方を根本から問い直す新しい価値観の創出と新たな産業構造の構築に迫られていると云えるのではないのでしょうか。再生可能エネルギーの研究開発や地球環境を取り巻く諸課題の検討も益々加速されています。

この様な社会情勢や産業構造の変化の中で、次世代を担う人材の輩出が大学に益々強く求められています。大学は学生が社会に巣立つ最後のインキュベータで、知識、技術のみならず、社会人としての人格形成にも大きく関与しています。我々が学び舎岐阜大学は、「学び、究め、貢献する岐阜大学」の理念のもとに、激動する国際化時代に対応した新たな社会に貢献する人材の育成に注力されています。新たな社会的価値への変遷期を迎えた今、実業の社会におられる同窓会の会員皆様は最も身近に社会や産業構造の変化を敏感に体感されているものと思います。各界企業においても新たな事業構造の変換に向けての対応が進められているものと思います。関西には日本を代表する企業が多数ありますし、関西特有の企業文化や風土があると思います。会員皆様が、社会から大学への橋渡しや境界をつなぐ役割を担っていただくことで、大学における社会に貢献できる人材育成の効果をさらに上げることが可能だと思えます。大学への産業界などの情報や動向の提供、大学からの社会への情報発信の支援も、大学での教育と人材育成に寄与するとともに、近年大きな課題になっております学生の就業にも大いに役立つものと思います。我々が母校岐阜大学と同窓会会員の皆様との相互のネットワークをさらに密で強固なものとする中で、岐阜大学が目指す理念の実現に少なからず貢献できるものと確信しています。岐阜大学工業倶楽部・関西支部会員の皆様には、岐阜大学が置かれている現状をご理解いただき、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。岐阜大学工業倶楽部・関西支部会員の皆様のご健勝と今後益々のご発展を祈念いたします。

岐阜大学工業倶楽部 関西支部委員会報告

◇ 総務委員会

総務委員長 浅沼良行

第3回総会報告

2011年6月26日、岐大工関西支部第3回総会がホテルコムズ大阪で開催され、第一部：総会、第二部：記念講演を行ないました。記念講演は、岐阜大学副学長 岡野氏「岐阜大学の現状、今の学生の考え方」、イビデン（株）代表取締役会長 岩田義文氏「企業（イビデン）の変遷」でした。参加者は、ご来賓4名、会員36名でした。

また、今期は役員会を6回（6/11, 7/9, 10/29, 12/17, 1/28, 3/24）開催しました。



◇ 会報編集委員会

会報編集委員 菅村 浩

岐阜大学工業倶楽部 関西支部会員の皆さまには、日頃より関西支部の活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。会報の発行も今回で三回目となります。支部活動について皆さまにわかりやすく、見やすい紙面作り心がけ、取り組んでおります。これからも意見交換や情報発信の場となるように工夫して編集していきたいと思っております。ホームページの運営につきましても、皆さまの意見を反映し、写真による情報を多数掲載しております。これからの情報量のアップにも対応できるようにデータ容量を増やしています。是非ご覧ください。

会員の皆さまに有意義な情報を素早く的確に発信していくよう努めていきます。これからも会員相互の情報交換が出来るように改善を続けていきたいと思っております。関西支部に対する要望や意見がございましたら何でも会報編集委員会にご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

◇ 行事委員会

行事委員会委員 東郷 茂

☆☆津波高潮ステーションの見学（大阪市西区江之子島2丁目1-64、地下鉄 阿波座すぐ）

6月と7月に各1回実施しました。ステーション職員のご案内で大阪の直面している津波対策が理解できました。

☆☆お江に関わる安土城社の歴史探索

11月8日近江八幡駅に集合して、バスで滋賀県立安土城考古博物館を滋賀県学芸員の方のご案内で見学しました。その後安土城社に登り、現存する城壁と本丸の跡を、昔を彷彿としながら眺めを楽しみました。

☆☆第2回交流会ゴルフコンペ開催

11月9日ダイヤモンド滋賀ゴルフで懇親ゴルフコンペを行ないました。5名の方は、前日の安土城社の歴史探索に参加された後、ゴルフ場に直結しましたダイヤモンド滋賀ホテルに宿泊され、参加しました。

☆☆忘年会

12月17日に、工業倶楽部関西支部の忘年会を大阪梅田のがんこ寿司で14名の参加で盛大に行ないました。

◇ 名簿編集委員会

名簿編集委員長 渋谷 欣司

会員名簿のメンテナンスをその都度実施し、その総括版として、2012・02・02版を発行しました。修正は入会の1名、退会2名、訂正16件の計19件で、現在の会員総数は、142名となっています。会員各位からの提出された情報に変更が生じた時は、事務局にご連絡を頂きスムーズな運営にご協力をお願い致します。

～ 関西支部の行事記録 ～

☆ 第2回交流会ゴルフコンペ ☆

第2回交流岐大工関西支部ゴルフコンペと岐大工化39会ゴルフコンペが合同で、平成23年11月9日(水)ダイヤモンド滋賀CCで盛大に開催されました。総勢15名が4組に別れて楽しい一日を過ごしました。前日の8日には、安土城址の見学会も開催されました。その夜は、ダイヤモンド滋賀CCホテルに宿泊して翌日プレーの皆さんも5名おられ、久しぶりにくつろげる旅行となりました。

優勝は青山勝沖氏(グロス90)、ニアピンは塚口義清・井上和夫の両氏。



昼食の時



プレー後の記念写真

☆ 安土城址の歴史探索 ☆

平成23年11月8日に安土城考古博物館および安土城址の見学が開催され10名が参加しました。当日は好天に恵まれ、織田信長が築いた当時の最大の城郭は発掘調査が進み、スケールの大きさがよく解りました。博物館学芸員の裏話主体の巧みな説明に、安土桃山時代にタイムスリップすることができました。



安土城本丸跡



安土城本丸跡から琵琶湖を望む

☆ 津波高潮ステーションの見学 ☆

平成23年3月に予定しながら東日本大震災直後のため中止しましたが、改めて6月26日と7月9日の2回実施し、22名が参加しました。津波・高潮の発生メカニズムや、大阪に海面より低い土地が多いこと、現在の防御体制、水防団の役割と訓練、避難方法など今後の対策の説明を聞き、有意義な見学会となりました。



防潮鉄扉



大阪の3大水害の記録

～ 会員の声 ～

同窓会と言う不思議な縁

米元 孝博(1975年 機械工学科卒)

平成20年の「生物多様性基本法」制定、22年の「生物多様性国家戦略2010」閣議決定等により各企業がCSRのひとつとして生物多様性の活動に取り組むようになり、私の勤務先でも当然のように生物多様性についての考え方を表明しています。私自身は他人事と置いていたところ、私の勤務事業場に約8万㎡の江戸時代からの防潮林があるということで、環境担当の一員として何らかの活動をせねばならなくなりました。一般的には、まず現状の生態系（鳥類、昆虫類、植物系）の調査という事になるのですが、その方面の知見も経験もなく何から始めるかで困っている時に、以前支部の総会で、「野鳥の会」会員の先輩がいるという事を思い出して、漠然とした状態で相談させて頂きました。その後、私の近隣の専門家を紹介して頂きその方にいろいろ指導を受け、防潮林を定点観測点の候補地にもしていただきました。関西支部人脈の恩恵をさっそく享受した事になります。

同窓会とは不思議なもので、何十年も前にたまたま同じ学校に在籍したというだけで、こちらあまり遠慮せず唐突なお願いをし、された先輩もわざわざ時間を割き、丁寧に対応してくれました。世間では、「同窓会人脈」とかいう本が結構売れているとの事ですが、仕事だけではなく趣味など人生を楽しく過ごすためにも、同窓会人脈は有効です。そのような訳で、お世話役のお話を頂き、皆様のお役にたとうと引き受けさせて頂きました。よろしくお願い致します。

岐阜大学で講師をして

木内 尚之(1969年 機械工学科卒)

11月16日に岐阜大学で講義を行ないました。題名は、「私は、社会をこう生きてきた。」です。前回同じタイトルで講義をされた工業倶楽部関西支部の平井さんのお話では、現在の学生の大半は、大学での目標がもてない学生が沢山いて、これが問題だとお聞きしていたので大学時代の話と卒業後の話を4:6にして講義を行ないました。

35名の男女の学生が講義に出席し、私の大学時代に立てた目標の4項目を紹介しました。

1. 大学を卒業すること。
(家庭の援助が無くアルバイトで学費、生活費をやりくりする。)
2. 彼女を見つけること。
(親が結婚にうるさかったから...)
3. 英語を読み、書き、話せる事。(21世紀は誰もが英語を話す時代になると考えたから...)
4. 海外旅行をする事。(自分の目で海外を経験するために...)

上記の目標は全て達成しました。

学生には、大学時代に34日間の東南アジア旅行談を当時のスライドを交えて行ないました。旅行で知り合った人々や各国の大学を訪問し、東南アジアの大学では英語で授業がされること等。そして、会社に就職して、英語が出来たので世界中を飛び回って仕事をしたこと。最初の海外は、オーストラリアのメルボルンのトヨタ自動車オーストラリアで7ヶ月間、現地作業者を指導して、設備を立ち上げた事。オーストラリアの人々の生活、人生観を紹介しました。上の写真は当時のメルボルンで走っていた電車です。岐阜市内を走っていた電車とそっくりで岐阜を思い出しながら仕事をした事を紹介しました。次に3年半滞在したイタリアのトリノを紹介しました。食べ物、文化、人間性などを紹介しました。ここで時間切れとなり、他に用意したドイツ、USA、インド、中国、韓国、英国などが紹介出来ませんでした。後日大学から受講学生のレポートが送付され、読みましたが少しは私の講義が参考になった事で一安心しました。



～・～ 名簿管理委員会からのお願い ～・～

“入会申込書”でお届けいただきました会員各位の個人情報、*会員各位への情報発信として、*会員相互の連携を計っていたく為の中継的役割として、支部活動を円滑に進める為に重要なツールとなっております。その為には、たえず生きた個人情報を把握しておく事が必要となります。“お届けいただいている各位の情報に変更が生じた時、また新規に設定された時”お手数ですが、事務局までご連絡いただくようお願い致します。特に、電子メールでの情報提供を優先しておりますので、メールアドレスの変更や新たに取得された時は、お忘れなくご連絡をいただきますようお願い致します。今後も各位の情報の管理には万全を期し、支部活動にのみ活用させていただきます。

ご連絡、お問い合わせ：

岐阜大学工業倶楽部関西支部 事務局長 阪上 丈一
〒554-0012 大阪市西区立売1丁目4番9号中井産業ビル4F
TEL:06-6543-6186, Fax:06-6543-6186, E-mail: gidai@koeiaquatec.co.jp

岐阜大学工業倶楽部関西支部
発行人 支部長 藤井 孝友
編集人 会報編集委員会 委員長 田中 健晴
担当 木内 尚之 菅村 浩